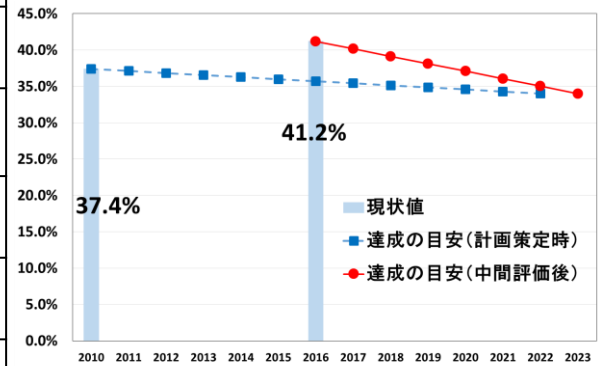


領域	1 生活習慣の改善	評価	D
分野	(1) 栄養・食生活		
目標項目	① 適正体重を維持している者の割合の増加 (肥満、やせの減少)		
指標	20歳～60歳代男性の肥満者(注1)の割合		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の37.4%から3.8ポイント増加の41.2%であり悪化傾向である。		



指標の見直しの検討	目標値の34.0%を維持する。
-----------	-----------------

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		37.4%						41.2%						
標本数		171人中 64人						182人中 75人							
達成の目安 (計画策定時)		37.4%	37.1%	36.8%	36.6%	36.3%	36.0%	35.7%	35.4%	35.1%	34.9%	34.6%	34.3%	34.0%	
達成の目安 (中間評価後)								41.2%	40.2%	39.1%	38.1%	37.1%	36.1%	35.0%	34.0%

<参考>

県内医療保険者(市町村国保、協会けんぽ、各共済組合、各健保組合)の特定健康診査の間診票データの集約結果

	2016 (H28)
40～60歳代 男性の肥満者の割合	36.9% (98,842人中36,496人)

(注1) BMI25.0以上を肥満者とする。

青森県総合健診センター健診受診者の肥満者の割合(男性)
(BMI25.0以上)

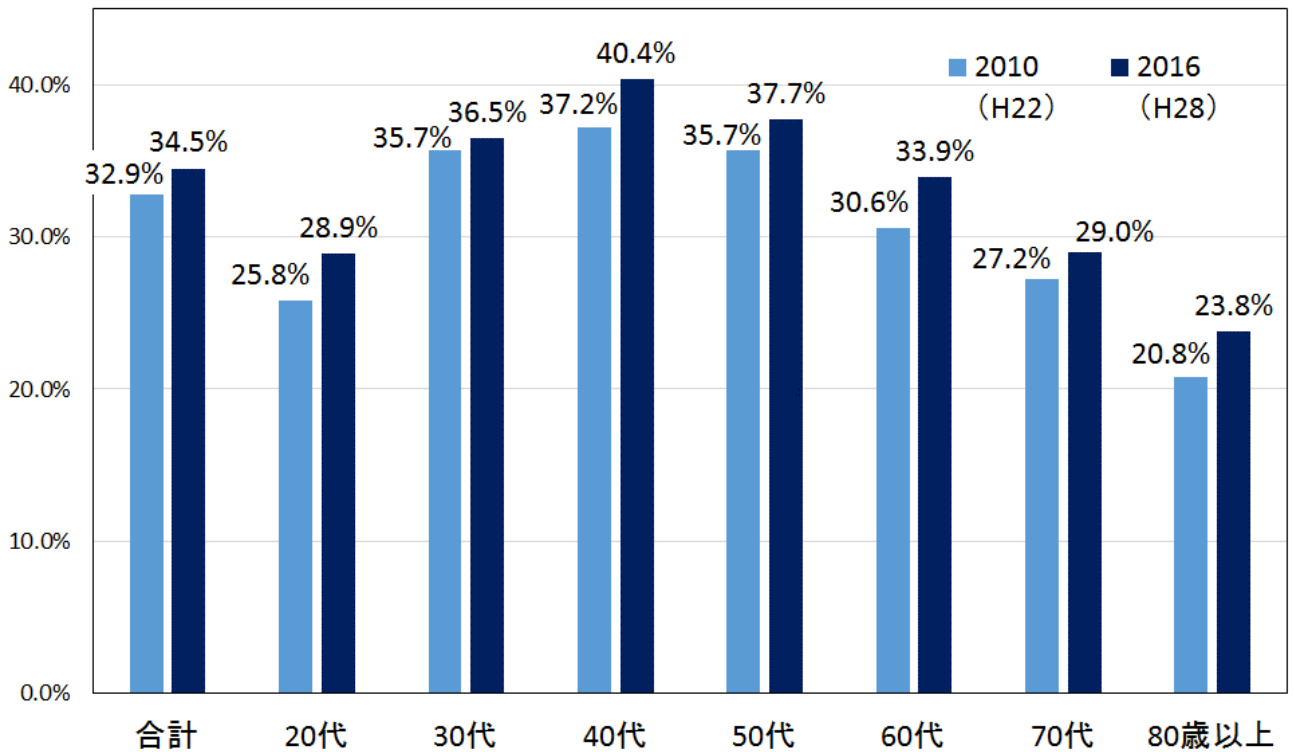
■2010年度(平成22年度)

年代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
肥満者の割合	32.9%	25.8%	35.7%	37.2%	35.7%	30.6%	27.2%	20.8%
標本数	61,594人 中 20,247人	5,963人 中 1,538人	10,726人 中 3,832人	11,872人 中 4,421人	13,901人 中 4,966人	10,819人 中 3,310人	6,989人 中 1,904人	1,324人 中 276人

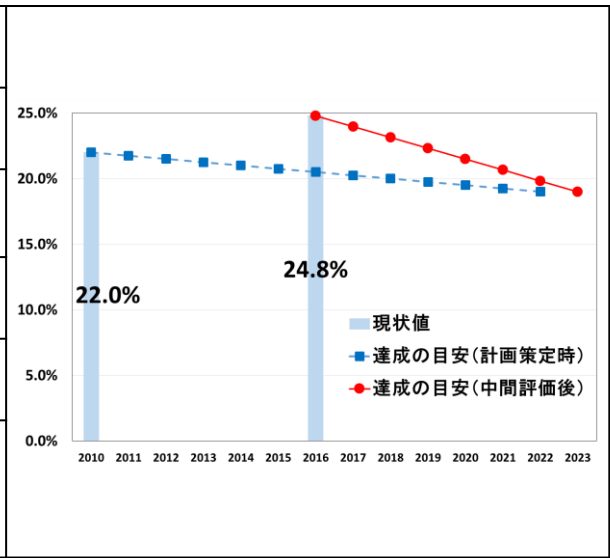
■2016年度(平成28年度)

年代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
肥満者の割合	34.5%	28.9%	36.5%	40.4%	37.7%	33.9%	29.0%	23.8%
標本数	65,366人 中 22,578人	6,544人 中 1,888人	8,814人 中 3,216人	11,997人 中 4,844人	12,091人 中 4,555人	14,494人 中 4,910人	8,564人 中 2,484人	2,862人 中 681人

青森県総合健診センター健診受診者肥満者の割合(男性)



領域	1 生活習慣の改善	評価	D
分野	(1) 栄養・食生活		
目標項目	① 適正体重を維持している者の割合の増加 (肥満、やせの減少)		
指標	40歳～60歳代女性の肥満者(注1)の割合		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の22.0%から2.8ポイント増加の24.8%であり悪化傾向である。		



指標の見直しの検討
目標値の19.0%を維持する。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		22.0%						24.8%						
標本数		168人中 37人						149人中 37人							
達成の目安 (計画策定時)		22.0%	21.8%	21.5%	21.3%	21.0%	20.8%	20.5%	20.3%	20.0%	19.8%	19.5%	19.3%	19.0%	
達成の目安 (中間評価後)								24.8%	24.0%	23.1%	22.3%	21.5%	20.7%	19.8%	19.0%

<参考>

県内医療保険者(市町村国保、協会けんぽ、各共済組合、各健保組合)の特定健康診査の問診票データの集約結果

	2016(H28)
40～60歳代 女性の肥満者の割合	24.4% (94,606人中23,118人)

(注1) BMI25.0以上を肥満者とする。

青森県総合健診センター健診受診者の肥満者の割合(女性)
(BMI25.0以上)

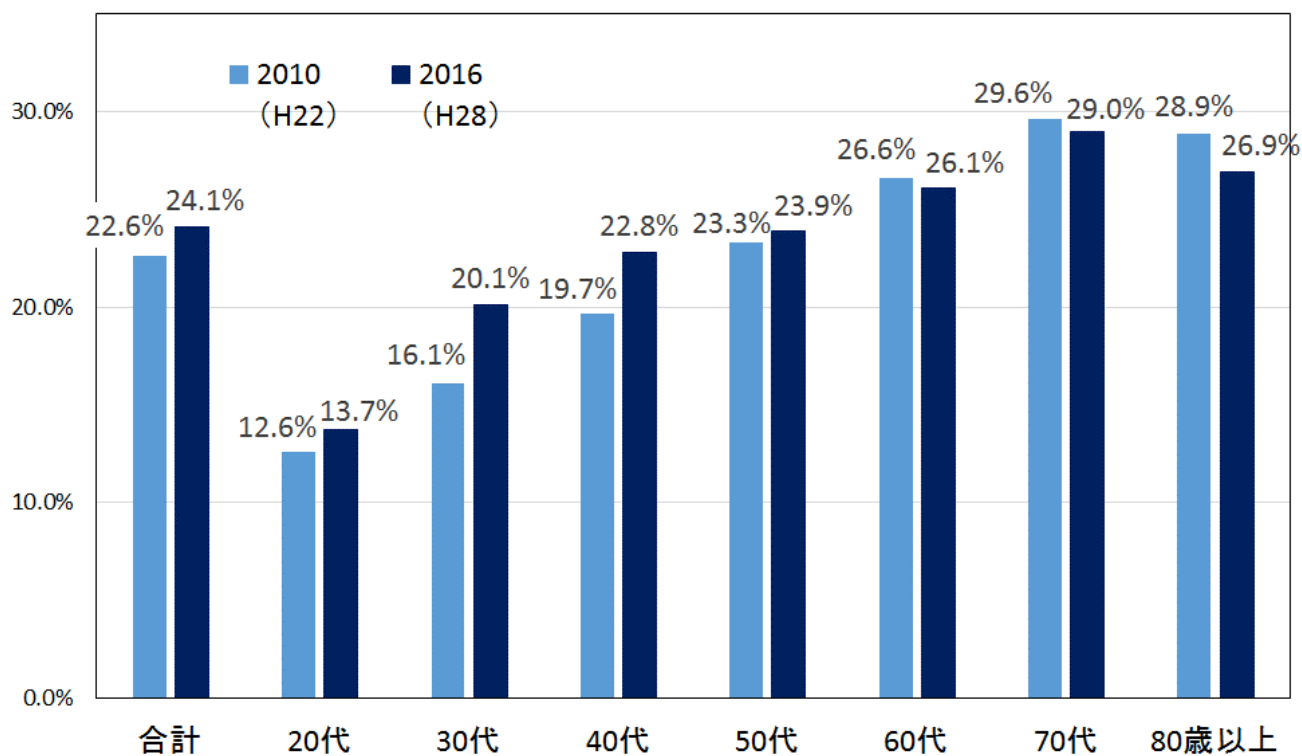
■平成22年度

年代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
肥満者の割合	22.6%	12.6%	16.1%	19.7%	23.3%	26.6%	29.6%	28.9%
標本数	59,770人 中 13,526人	5,388人 中 679人	7,551人 中 1,212人	10,083人 中 1,987人	12,888人 中 3,003人	13,648人 中 3,634人	8,875人 中 2,624人	1,337人 中 387人

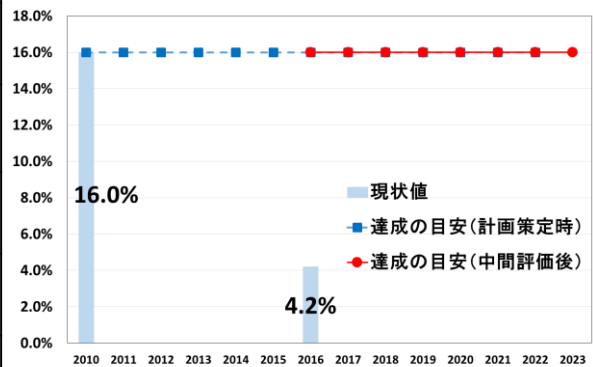
■平成28年度

年代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
肥満者の割合	24.1%	13.7%	20.1%	22.8%	23.9%	26.1%	29.0%	26.9%
標本数	66,832人 中 16,083人	5,450人 中 749人	7,281人 中 1,460人	10,682人 中 2,438人	11,614人 中 2,779人	17,087人 中 4,455人	11,860人 中 3,434人	2,858人 中 768人

青森県総合健診センター健診受診者肥満者の割合(女性)



領域	1 生活習慣の改善	評価	E
分野	(1) 栄養・食生活		
目標項目	① 適正体重を維持している者の割合の増加 (肥満、やせの減少)		
指標	20歳代女性のやせの者(注2)の割合		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の16.0%から11.8ポイント減少の4.2%であるが、標本数が少なく評価困難である。		



指標の見直しの検討
標本数が少なく評価困難であるが、指標及び目標値の16.0%は維持する。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		16.0%						4.2%						
標本数		25人中 4人						24人中 1人							
達成の 目安 (計画策 定時)		16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%
達成の 目安 (中間評 価後)								16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%

<参考>

17歳(高校3年生)女子の痩身傾向児(注3)の出現率(出典:県教育委員会学校保健調査)

2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)
1.3%	1.4%	1.7%

青森県総合健診センター健診受診者の20歳代女性のやせの割合(BMI18.5未満)

2010 (H22)	2016 (H28)
18.9%	17.5%
(5,388人中1,018人)	(5,450人中953人)

(注2) BMI18.5未満をやせの者とする。

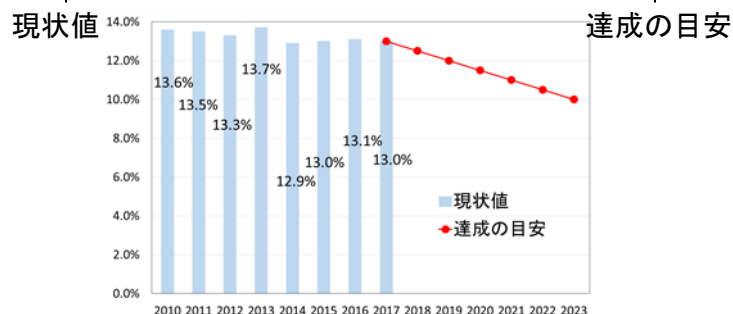
(注3) 性別・年齢別・身長別標準体重から求めた肥満度がマイナス20%以下の者

領域	1 生活習慣の改善	評価	B													
分野	(1)栄養・食生活															
目標項目	②肥満傾向にある子どもの割合の減少															
指標	小学5年生の中等度・高度肥満傾向児(注4)の割合(男子)															
データソース	県教育委員会学校保健調査															
分析・評価	現状値が基準値の9.0%から1.0ポイント減少の8.0%であり、目標の(H31年度までに)減少となっており改善傾向である。															
指標の見直しの検討	<p>健康日本21(第二次)の中間評価では、健やか親子21(第2次)に準じて、「10歳(小学5年生)の肥満傾向児(注5)の割合(男女合計値)」を新たな指標とした。これを受けて、「小学5年生の中等度・高度肥満傾向児(注4)の割合(男女別)」の指標は廃止し、今後は健康日本21(第二次)と同様に「10歳(小学5年生)の肥満傾向児の割合(男女合計値)」を新たな指標とし、男女別の値は参考値として経過を確認する。</p> <p>目標値は健康日本21(第二次)の減少率(H29年度8.9%→H34年度7.0% 約21%減)と同程度の減少を目指すこととし、H29年度の値(13.0%)の21%減の値(13.0%×79%≒)の10.0%とする。</p>															
データ	年度	2010(H22)	2011(H23)	2012(H24)	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020	2021	2022	2023	
	現状値	9.0%	9.0%	8.3%	7.9%	8.1%	8.5%	8.1%	8.0%							
	標本数	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	<p>○新指標 10歳(小学5年生)の肥満傾向児の割合(男女合計値) ○新目標値 10.0%</p>						
	達成の目安(計画策定時)	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%					

<参考>

10歳(小学5年生)の肥満傾向児の割合(男女合計値)(現状値出典:県教育委員会学校保健調査)

2010(H22)	2011(H23)	2012(H24)	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020	2021	2022	2023
13.6%	13.5%	13.3%	13.7%	12.9%	13.0%	13.1%	13.0%	12.5%	12.0%	11.5%	11.0%	10.5%	10.0%



(注4) 性別・年齢別・身長別標準体重から求めた肥満度がプラス30%以上50%未満を中等度肥満傾向児、プラス50%以上を高度肥満傾向児という。

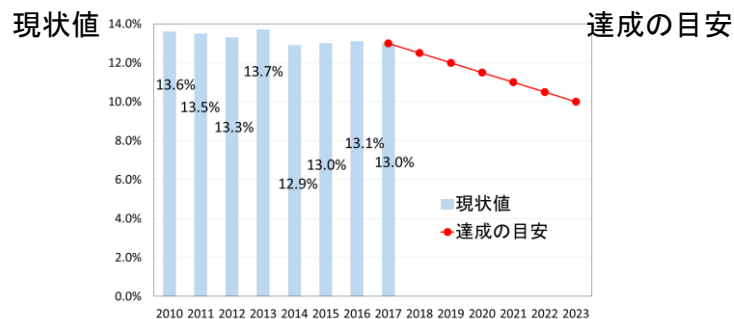
(注5) 性別・年齢別・身長別標準体重から求めた肥満度がプラス20%以上の者を肥満傾向児という。

領域	1 生活習慣の改善	評価	C												
分野	(1) 栄養・食生活														
目標項目	② 肥満傾向にある子どもの割合の減少														
指標	小学5年生の中等度・高度肥満傾向児(注4)の割合(女子)														
データソース	県教育委員会学校保健調査														
分析・評価	現状値が基準値の5.8%から0.1ポイント減少の5.7%であり横ばい傾向である。														
指標の見直しの検討	<p>健康日本21(第二次)の中間評価では、健やか親子21(第2次)に準じて、「10歳(小学5年生)の肥満傾向児(注5)の割合(男女合計値)」を新たな指標とした。これを受けて、「小学5年生の中等度・高度肥満傾向児(注4)の割合(男女別)」の指標は廃止し、今後は健康日本21(第二次)と同様に「10歳(小学5年生)の肥満傾向児の割合(男女合計値)」を新たな指標とし、男女別の値は参考値として経過を確認する。</p> <p>目標値は健康日本21(第二次)の減少率(H29年度8.9%→H34年度7.0% 約21%減)と同程度の減少を目指すこととし、H29年度の値(13.0%)の21%減の値(13.0%×79%≒)の10.0%とする。</p>														
データ	年度	2010(H22)	2011(H23)	2012(H24)	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値	5.8%	5.8%	5.6%	6.1%	5.5%	4.8%	5.7%	5.7%						
	標本数	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆						
	達成の目安(計画策定時)	5.8%	5.8%	5.8%	5.8%	5.8%	5.8%	5.8%	5.8%	5.8%	5.8%				

<参考>

10歳(小学5年生)の肥満傾向児の割合(男女合計値)(現状値出典:県教育委員会学校保健調査)

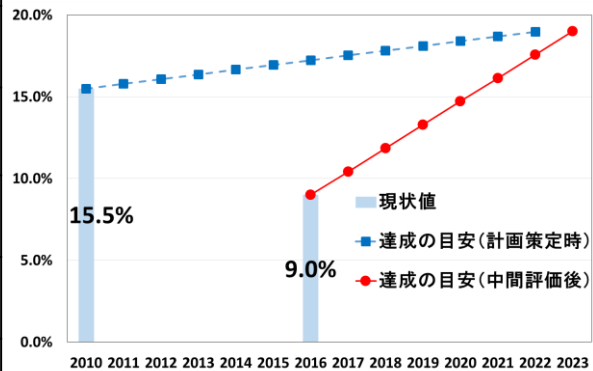
2010(H22)	2011(H23)	2012(H24)	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020	2021	2022	2023
13.6%	13.5%	13.3%	13.7%	12.9%	13.0%	13.1%	13.0%	12.5%	12.0%	11.5%	11.0%	10.5%	10.0%



(注4) 性別・年齢別・身長別標準体重から求めた肥満度がプラス30%以上50%未満を中等度肥満傾向児、プラス50%以上を高度肥満傾向児という。

(注5) 性別・年齢別・身長別標準体重から求めた肥満度がプラス20%以上の者を肥満傾向児という。

領域	1 生活習慣の改善	評価	A
分野	(1)栄養・食生活		
目標項目	③低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の増加の抑制		
指標	低栄養傾向の高齢者の割合		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の15.5%から6.5ポイント減少の9.0%であり、目標値の19.0%以下に達している。		



指標の見直しの検討

目標値に達しているが、自然増により見込まれる割合を考慮してその値(19.0%)は維持する。

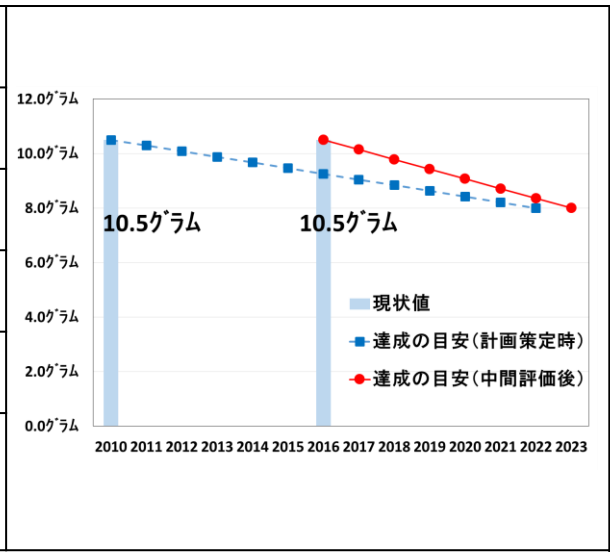
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		15.5%						9.0%						
標本数								222人中 20人							
達成の目安(計画策定時)		15.5%	15.8%	16.1%	16.4%	16.7%	17.0%	17.2%	17.5%	17.8%	18.1%	18.4%	18.7%	19.0%	
達成の目安(中間評価後)								9.0%	10.4%	11.9%	13.3%	14.7%	16.1%	17.6%	19.0%

<参考>

県内医療保険者(協会けんぽ)の特定健康診査の問診票データの集約結果

	2016(H28)
65歳以上 BMI20以下の者の割合	12.9% (9,936人中1,277人)

領域	1 生活習慣の改善	評価	C
分野	(1)栄養・食生活		
目標項目	④食塩摂取量の減少(成人)		
指標	成人の食塩摂取量		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の10.5gから変化なしの10.5gであり横ばい傾向である。		

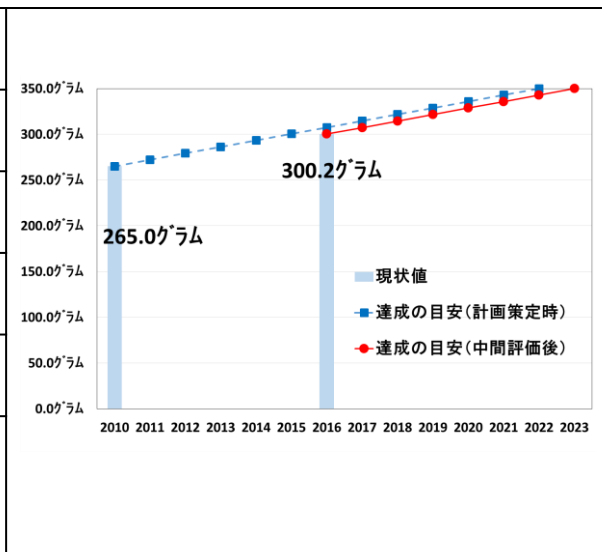


指標の見直しの検討

目標値の8.0gを維持する。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023	
	現状値		10.5g						10.5g							
標本数		n=720						n=726	目標値維持							
達成の目安(計画策定時)		10.5g	10.3g	10.1g	9.9g	9.7g	9.5g	9.3g	9.0g	8.8g	8.6g	8.4g	8.2g	8.0g		
達成の目安(中間評価後)								10.5g	10.1g	9.8g	9.4g	9.1g	8.7g	8.4g	8.0g	

領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(1)栄養・食生活		
目標項目	⑤野菜と果物の摂取量の増加		
指標	野菜摂取量の平均値(20歳以上)		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の265gから35.2g増加の300.2gであり、目標値の350.0gに達していないものの改善傾向である。		

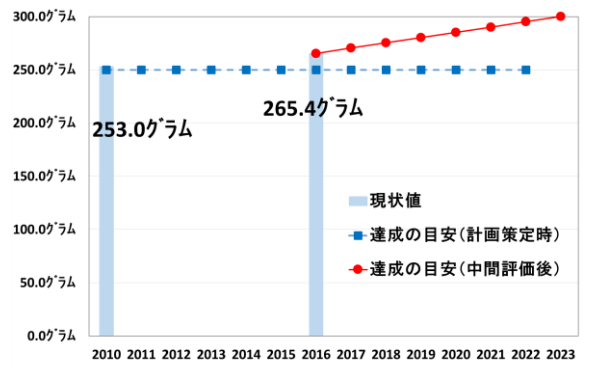


指標の見直しの検討

目標値の350.0gを維持する。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023	
	現状値	265.0g						300.2g								
	標本数	n=720						n=726	目標値維持							
	達成の目安(計画策定時)	265.0g	272.1g	279.2g	286.2g	293.3g	300.4g	307.5g	314.6g	321.7g	328.7g	335.8g	342.9g	350.0g		
	達成の目安(中間評価後)							300.2g	307.3g	314.4g	321.5g	328.7g	335.8g	342.9g	350.0g	

領域	1 生活習慣の改善	評価	A
分野	(1) 栄養・食生活		
目標項目	⑤野菜と果物の摂取量の増加		
指標	野菜摂取量の平均値(7～14歳)		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の253gから12.4g増加の265.4gであり、目標値の250.0gに達している。		



指標の見直しの検討

目標値に達しており、より高い目標設定が適当である。
 第6次日本人の栄養所要量の活用編(2000年)における野菜摂取量の目安が、9～11歳で290g、12～14歳で300gであること、給食による野菜摂取量が小学生で100g、中学生で120gとされていることを踏まえて、教育的指導の観点から300.0gを新目標値とする。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		253.0g						265.4g						
標本数		n=68						n=45							
達成の目安(計画策定時)		250.0g	250.0g	250.0g	250.0g	250.0g	250.0g	250.0g	250.0g	250.0g	250.0g	250.0g	250.0g	250.0g	
達成の目安(中間評価後)								265.4g	270.3g	275.3g	280.2g	285.2g	290.1g	295.1g	300.0g

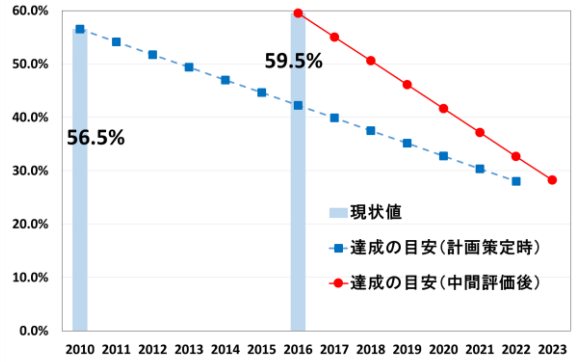
旧目標値 250.0g
↓
新目標値 300.0g

<参考>

年代別の野菜の摂取量の目安(g/日)(出典:第6次日本人の栄養所要量の活用編(2000年))

	6～8歳	9～11歳	12～14歳	6～14歳(平均)
緑黄色野菜	90	90	100	93
その他の野菜	150	200	200	183
野菜合計	240	290	300	276

領域	1 生活習慣の改善	評価	D
分野	(1)栄養・食生活		
目標項目	⑤野菜と果物の摂取量の増加		
指標	果物摂取量100g未満の者の割合(成人)		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の56.5%から2.8ポイント増加の59.3%であり悪化傾向である。		

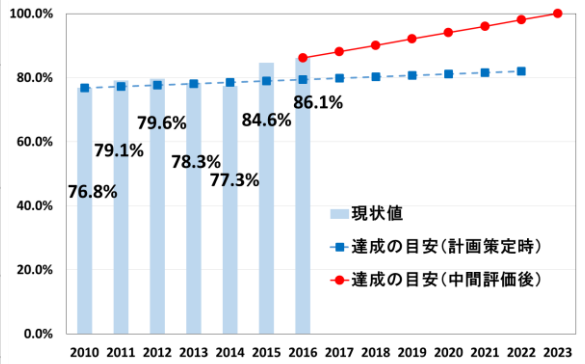


指標の見直しの検討

目標値の28.0%を維持する。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023	
	現状値	56.5%						59.3%								
	標本数	720人中 407人						726人中 432人	目標値維持							
	達成の目安(計画策定時)	56.5%	54.1%	51.8%	49.4%	47.0%	44.6%	42.3%	39.9%	37.5%	35.1%	32.8%	30.4%	28.0%		
	達成の目安(中間評価後)							59.3%	54.8%	50.4%	45.9%	41.4%	36.9%	32.5%	28.0%	

領域	1 生活習慣の改善	評価	A
分野	(1)栄養・食生活		
目標項目	⑥利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合の増加		
指標	管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合		
データソース	衛生行政報告例		
分析・評価	現状値が基準値の76.8%から9.3ポイント増加の86.1%であり、目標値の82.0%に達している。		



指標の見直しの検討

目標値に達しており、より高い目標設定が適当である。
 新目標値は、全ての特定給食施設で管理栄養士・栄養士が利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施することを目指し100.0%とする。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		76.8%	79.1%	79.6%	78.3%	77.3%	84.6%	86.1%						
標本数		悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆							
達成の目安 (計画策定時)		76.8%	77.2%	77.7%	78.1%	78.5%	79.0%	79.4%	79.8%	80.2%	80.7%	81.1%	81.5%	82.0%	
達成の目安 (中間評価後)								86.1%	88.1%	90.1%	92.1%	94.0%	96.0%	98.0%	100.0%

旧目標値 82.0%
 ↓
 新目標値 100.0%